



みなかぜ通信

H30.12.10 発行

vol.25

秋号

巻頭言



猛暑だった今年の8月、みなかぜ病院の26期がスタートしました。

今期から私が病院長をさせて頂くことになりましたが、秋を感じる間もなく気が付くと初冬となり、すでに26期も第二四半期に突入しあっという間の4ヶ月間だったと思います。

今期より、患者さんと共に歩む精神科医療を提供することを目的に病院理念を新たに『患者さんとともに』としました。昨今の高齢化に伴い、当院でも患者さんの高齢化は進み認知症の患者さんが増える一方で、ストレス社会に苦しむ患者さんも増加し、求められる診療内容も多様化してきております。これらの変化に対応すべくみなかぜ病院3か年計画を作成し、患者さんと共に歩む精神科医療を提供できるようスタッフ一同一丸となり今期より計画に取り組んでおります。これからのみなかぜ病院も宜しくお願い申し上げます。

(院長 堤 淳)



医療法人せいわ会 **みなかぜ病院**

発行責任者 院長 堤 淳

〒819-1129 福岡県糸島市篠原西 1-14-1
TEL 092-322-3261 URL <http://www.minakaze.jp/>

【病院理念】

“患者さんとともに”

【基本方針】

- 安全で安心できる医療を提供します
- 地域社会と共存共栄します
- 自己研鑽に努め成長します

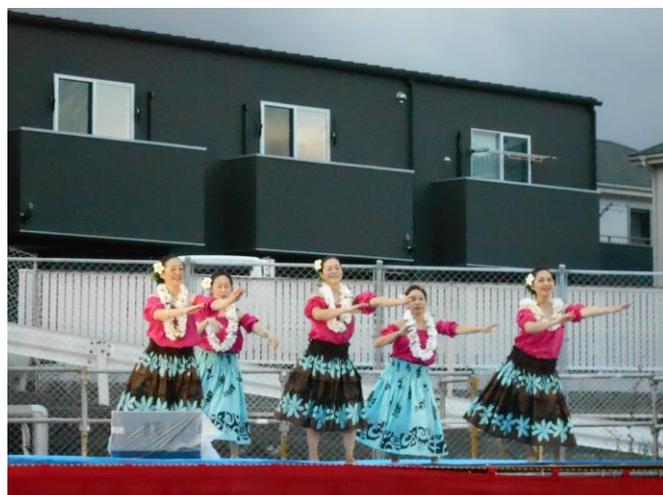


第9回夏祭り 開催しました！！



8月23日に『第9回みなかぜ病院夏祭り』を開催しました。ステージイベントとして、二丈絆太鼓の皆さんによる太鼓演奏のパフォーマンスやLanternsによるアコースティックライブ、フラ・ハナ・アロハによる華麗なフラダンスが披露され、エネルギー溢れる力強いパフォーマンスにより会場全体が盛り上がりました。出店ではたこ焼きやかき氷、お菓子すくいなど様々な種類があり、多くの患者様やお客様、関係者の皆様に楽しんで頂けるように取り組みました。途中、雨が降り続行も危ぶまれましたが、すぐ雨も止み無事に終えることができました。今後も地域の皆様に親しんで頂ける病院となるべく、各種行事の運営や地域活動への参加・広報活動等に努めていきたいと思っております。

(第9回夏祭り実行委員長 山路友之)



院内研修より

嚥下について



患者さんにとって、食事の時間というのは、楽しみな時間になれば、苦痛な時間にもなり得ます。どうしたらおいしく、安全に食べていただけるかを考え、多職種で、患者さんの“口から食べる”を支える支援につなげていける機会になればと思います。



(管理栄養士 築城 清夏)



※院内研修会風景です

毎てインフルエンザ予防!!

インフルエンザは、咳やくしゃみによる飛沫(空気)感染や接触によって発症します。普段からマスクの着用、手洗い、アルコール消毒を行いきちんと食事をし十分な睡眠をとり予防しましょう。



(3 病棟 加布里光孝)

編集後記

今年の夏は、皆さんにとっても、病院にとっても、体制が変わったり、機能評価受審に向けての準備が在ったり、とても暑い夏になったように思います。芸能界でも平成の歌姫が『はじまりがあると、必ず終わりが来る』という言葉を残して、引退しました。いつか来るかもしれない終わりの時に悔いが残らないような生き方を考えさせられました。

また、今号は発行が遅れ、多少季節外れとなりましたが、ご拝読いただけますよう、よろしくお願いたします。

職員紹介リレー

ハイタッチ!!



氏名 : 片岡 英敏
職種 : 事務部庶務係
趣味 : 水泳、登山
日帰り乗り鉄



一言 : 初の病院勤務。やっと半年。
まだまだ不慣れです。皆さん
色々教えてください。